

2003年10月8日  
(木の日)  
森林塾青水  
事務局便り  
茅風通信 6号

## まどろめば邯鄲の夢かや原に



9月14～15日、第3回フィールドスタディを開催しました。地元の皆様も含め28名が参加、毎木調査の他に初めての茅刈りや、番小屋造りなど大汗かいてチャレンジしました。ナンバンキセルを発見したり邯鄲の音に聞き惚れたり、うれしいことも楽しいこともたくさんありました。

### 今号の目次

- 1. 第3回フィールドスタディの結果報告・・・・・・・・・・1頁
- 2. 9月30日開催・幹事会レポート・・・・・・・・・・6頁
- 3. 第4回フィールドスタディの日程・・・・・・・・・・6頁

## 記

### 2. 第3回フィールドスタディの結果報告

#### (1) 茅場の「概況踏査」の結果について

(海老澤秀夫)

今回の調査の目的は、私たちのフィールド(21ヘクタール)の半分を占める「茅場」の様子を調べることでした。精密な調査ではなく、茅場の周囲を歩きまわって全体の様子を把握することにとめました。

歩いたコースは、「水飲み場前の林道」、「ミズナラ林と茅場の境目」、「南側の境界線(スギが並木状に植わっているところ)の一部」、「車道(西側の境界線)」です。茅場の周囲をぐるりと一周したことになります。

< 今回の踏査でわかったこと >

(1) 茅場はおおよそ3つの部分に分けられそうだ(3頁地図をご参照)

ススキが多いところ

ススキに低木(タニウツギ、バッコヤナギなど)が混じっているところ

ススキに低木と高木(シラカバ、ミズナラなど)が混じっているところ

「遷移」が進んで木が生え込み、本来のススキ草原は少なくなっている【写真】

(2) ススキ草原の植物「ナンバンギセル」を発見【写真】

- ・ ナンバンギセルはススキなどの根に寄生する植物。ススキ草原の減少とともに貴重な植物になってしまった。
- ・ 今回見つけたのは1株のみ。私たちの茅場も「衰退」しつつあるようだ。

(3) かつての「火防線」らしき場所があった(地図)

- ・ 「火防線」というのは、かつてススキ草原を維持するために茅場を焼いていたとき、類焼を防止するために設けた「防火帯」。
- ・ 仮小屋の前にあるスギの木は、「火防線」に沿って植えられているようだ。
- ・ 十郎太沢の南側、ミズナラ林との境に沿って人工的な「道」のようなものが残っていた。幅は約5メートル。現在は木が生えているが、「火防線」の可能性が大きい。



ナンバンギセル / 高さ 26 cm のピクサイズ

< 茅場について必要な今後の調査など >

(1) 茅場全体の様子をより正確に把握して地図にすること

- ・ 9月14日と15日のフィールド調査からは、まだ正確な現況図が作れません。測量コンパスを利用して、主要な「樹木」の位置を地図上に落とすなどの作業が必要です。

(2) 茅場の植生調査(10月のフィールド調査で予定しています)

- ・ 茅場の「火入れ」が、早ければ来春におこなわれる予定です。「火入れ前」と「火入れ後」で茅場(ススキ草原)がどう変化するのかを追跡したいと思います。将来、私たちが茅場を本格的に利用・管理していく上で役に立つデータが得られるかもしれません。
- ・ 調査項目は、ススキ、その他の草の密度(被度)、ススキ、その他の草の大きさ(太さ、高さなど)、ススキ、その他の草のバイオマス量(重さ)などを予定。

(3) 茅場(ススキ草原)の生き物調べ(チョウなどの昆虫、野鳥など)

- ・ 特にチョウを含む昆虫類の調査は重要と思われます。
- ・ 1975年に群馬県がおこなった調査によると、群馬県に生息しているチョウとガのうち72%の種類をこの地区で見ることができたといえます。

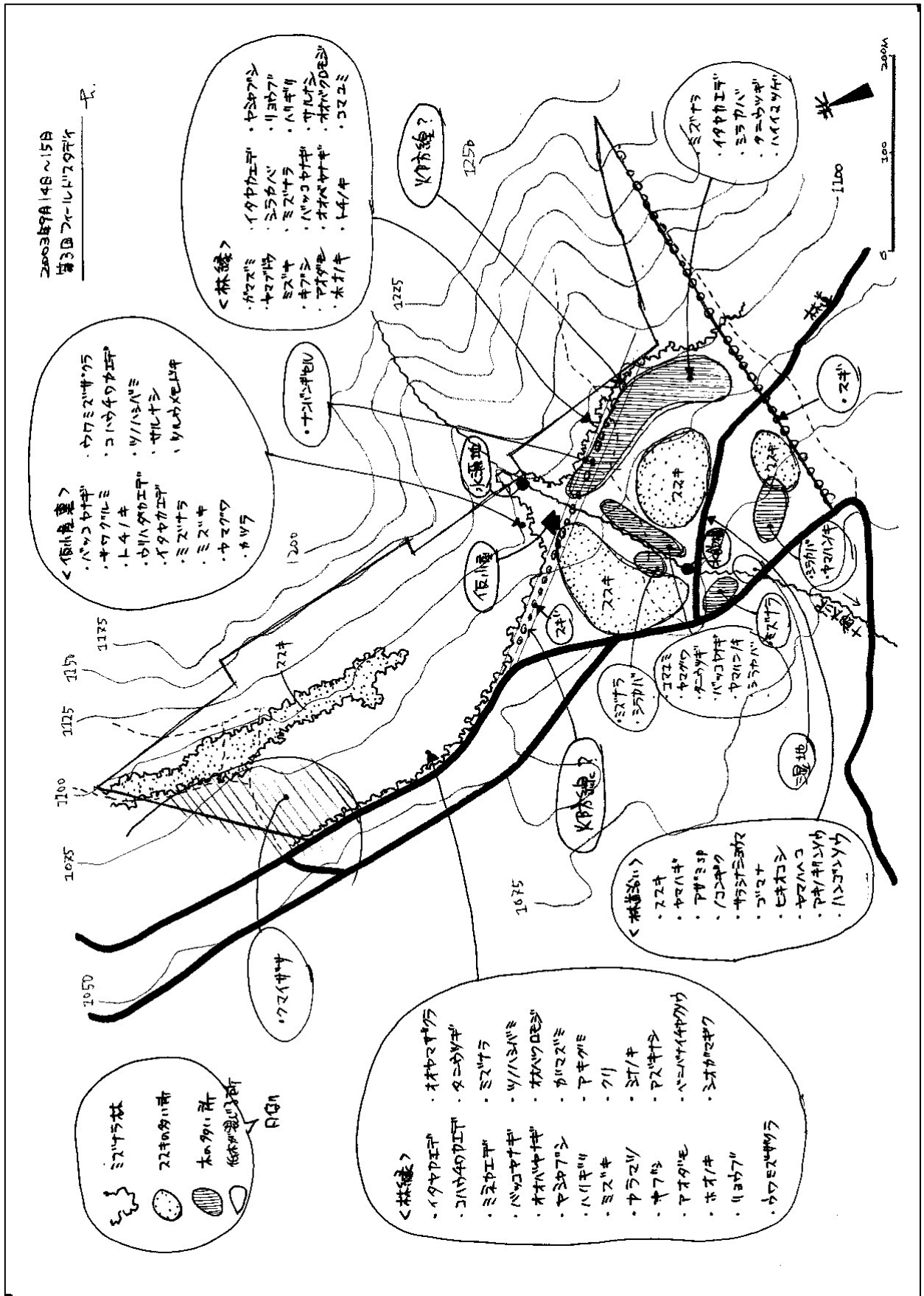
(4) 茅場の四季の記録

- ・ 写真などの記録はもちろん、将来は「花ごよみ」「虫ごよみ」「鳥ごよみ」などを作りましょう。特にススキやハギなど茅場で重要なものについては、より詳しい「年間記録」があるとよさそうです。これらは「教材」としても利用できます。

(5) 茅場の利用・管理計画づくり

- ・ 茅場はこのまま放置すれば「森林」にもどっていきます。これを「ススキ草原」として維持していくのにいちばんいい方法は「火入れ」です。10ヘクタール全部をススキ草原として管理・利用していくのか...。全体のランドデザインが必要です。
- ・ 茅場の資源(ススキ、ハギ、ワラビなど)をどう利用していくのか。茅場を育てるだけでなく、資源の使い道や使う仕組みを考えていく必要があります。
- ・ 散策路、管理道路が必要です。どんなルートが必要か、検討しましょう。

フィールド地図





## (2) 茅刈りと番小屋ならびに茅の輪づくりの経過

(池田登)

9月14,15日秋晴れに恵まれたなか、水上・上の原茅場での仮小屋、茅野輪作りが、地元及び役場の方々の協力により、森林塾会員の手によって実施されました。

まず、茅刈り班と仮小屋建設班に分かれた後、前もって準備された資材の運搬から始まりまして。水場より防火帯まで、かなりの勾配と距離があるところを男性と女性も関係なく、全員で運び上げました。

昔の茅場の防火帯と思われる比較的平らな場を建設場所と定め、その周囲の茅刈り作業を開始、かなりの広さの防火帯の茅刈りを進め、午前中の作業を完了しました。藤原地区を取り巻く山並み全体が望まれるこの場所のロケーションのすばらしさに、改めて皆で感動しました。

冬場の雪の重量、強風に耐えられる小屋作りは、困難を極めました。茅葺き師の阿部さんのご指導もあり、15日午後までに何とか、骨組みと一部茅葺きまで60%程度出来上がり、茅の輪の方も三方枠完了まで至りました。重労働にきしんだ皆の体に、藤原の茅風がこちよく感じられたフィールドスタディとなりました。

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| 丸太杭づくり  | 資材運び  | 骨組み   |
|   |   |   |
| 屋根下地完成  | 縄結びと番線締め  | 茅葺き   |
|  |  |  |
| 内側  | 屋根葺き  | おつかれさまでした   |

### 今後の課題と反省点

- ・茅刈り班、運搬班としてももう少し人員が必要であった。(最低10人)
- ・地元阿部氏(民宿キリン主人)のより協力的指導を受け、会員がある程度は茅葺き作業ができるようになることを努力目標としたい。(縄結びを含む)
- ・次回の作業として、今回刈った茅の20倍程度の量が必要となる。次回は集中的に茅刈り作業を全員で行う必要がある。
- ・小さな茅の輪に付ける小物(森林塾オリジナル)を具体的に確保する。(フィールド内で採取できるもの)
- ・仮小屋完成後中に収納する道具等のリスト作り及び方法を決めておく。

最後に今回のフィールドスタディは、少しハードでありましたが、「皆で楽しく」という基本的な点は満足できたと思います。

さらにこの会全員での楽しみを追求していきましょう。感謝！！

(3) 青水の「森の番小屋」& ロッジ「雪割草」の思い出 (齊藤康子)

山はもう秋の気配とはいえ、日中は残暑のなごり陽がまぶしく、時折茅風が渡ります。青木の森の「茅ぶき山小屋」の設置作業は、天候に恵まれた2日間でした。茅場 上部の場所は見晴らしの良い絶景です。茅場入口から建材を運び上げ往復すること数回、地元の協力隊の方々と、古老・阿部惣一郎氏の指導のもとに山小屋の骨組みはしっかりと出来上がりました。屋根の茅ぶきは、一部分のみでまだまだ大量の茅が必要とのこと。次回は茅刈り作業を集中的に行う事になりました。茅刈りは斜面に向かって、下から上へと左手で茅を脇に抱き包む様に刈り、束ねていく手順だとのこと。楽しい汗を流した後の夕食は、一段とおいしいものばかりです。

ロッジ「雪割草」では、自家農園栽培の野菜や穀物、山菜、果物等の材料を使って、奥様が献立と調理をなさっています。吟味した素材に合った調理法を考えて、季節感があり、食物繊維たっぷりのヘルシーなお料理です。私のお勧めメニューは マークです。何品か調理の仕方を伺ってみました。

**13日(土)の夕食のメニューから**

- 鱒の味噌焼きホイル包み・・・味噌に合う薬味を添えると・・・？
  - 南瓜のそぼろあんかけ・・・薄味は私にピッタリ、南瓜の甘みが美味
  - 揚げじゃがのコロコロ煮・・・粒揃いの丸ごと皮ごとじゃがいも達がかわいい
  - ぜんまいの煮物・・・都会の若い家庭ではあまり食べられていないのでおすすめ品
  - タマゴサラダ・・・レタスタっぷり
  - つるむらさきの胡麻和え・・・緑鮮やかで味かげん美味
  - あさりと若芽の酢味噌・・・海産物もあって良かった
  - そばがき・・・群馬県の郷土の味はぜひいつもテーブルに
  - フルーツ(オレンジ)・・・甘くてとても新鮮でした
- 漬物

**14日(日)朝食のメニューから**

- 茄子の揚げびたし・・・一口位の乱切りにした茄子を素揚げしてお湯をかけ油落としをする。だし汁はしょうゆ、酒、みりん、酢を少々(隠し味として)。さっぱりとした、まろやかな味になる。赤唐辛子を細かく切って、ちらす。
- イナゴの佃煮・・・カルシウムたっぷり

**14日(日)夕食のメニューから**

- 虹鱒の甘露煮・・・カルシウムたっぷり一尾丸ごといただいてしまう。
  - おから団子の海老あんかけ・・・団子をしっかりと海苔の帯で結び手間の一品
  - さつまいもと春雨のずんだ和え・・・素材の取り合わせがきれい。春雨に枝豆の色がさわやか
  - ワラビの 巻煮・・・おいしかった。季節によって、中身を変えても。ふき等
  - 高原花豆煮・・・甘すぎず美味、豆の姿良し、私の煮豆はくずれてしまう
  - ポテトサラダ・・・レタスタっぷり、ポテトがおいしい
  - 印元のジンジャーソースがけ・・・生姜のみじん切りのドレッシング
  - 刺身こんにやく・・・群馬のこんにやくはおいしい。いつもテーブルに
- 漬物
- デザート・・・プレーンヨーグルト、エビガライチゴジャム  
(エビガライチゴジャムは初めて食す。おいしくてびっくり!)



13日(土) 夕食



14日(日) 朝食



14日(日) 夕食

## 2. 9月30日開催・幹事会レポート

(浅川潔)

メンバー：清水、池田、湯本、木村、海老沢、浅川の6名

場所：扶桑レクセル5階会議室

内容：第4回フィールドスタディの内容、プログラム、役割分担について  
第3回フィールドスタディの報告書・茅風通信6号について  
その他

- ・水上町が協賛会員に3口加入することが議会で承認
- ・草原シンポジウムに森林塾から海老沢、浅川派遣（1名分の費用負担）
- ・新入会員紹介
- ・関連記事紹介など

## 3. 第4回フィールドスタディの日程

(池田・海老澤)

以下のプログラムに、合計24名の皆さまの参加申し込みをいただいています。

| 日            | 時間         | 一般   |       | 会員                |
|--------------|------------|--|-------|-------------------|
| 10/17<br>(金) | 11:00      | 水上紀行館集合  |       |                   |
|              | 12:00      | 昼食   |       |                   |
|              | 13:00      | 秋野菜の収穫   |       |                   |
|              | ~<br>17:00 | 郷土資料館見学<br>仙太郎館見学  |       |                   |
| 10/18<br>(土) | 9:00       | 雨呼山ハイキング   | 10:10 | 上毛高原駅             |
|              | ~<br>11:00 |  | 11:00 | 上の原フィールド集合<br>茅刈り |
|              | 12:00      | 上の原フィールドで昼食（水上町が準備）  |       |                   |
|              | 13:00      | 茅刈り<br>地元の炭焼き名人・林包芳さんが指導してくれます。  |       |                   |
|              | 15:00      | カヤ場の調査（ススキ草地の植生調査）<br>その他、「キノコ狩り」「紅葉狩り」「茅編み体験」<br>初日は、「カヤ刈り」を優先します<br>鎌などカヤ刈り作業に必要な道具は準備してあります<br>長袖、軍手など、作業に適した服装で来て下さい |       |                   |
| 10/19<br>(日) | 9:00       | 仮小屋の茅葺き作業<br>元・茅葺き職人の阿部惣一郎さんが指導してくれます<br>参加者全員、体験していただくようにします  |       |                   |
|              | 11:00      | 植生調査（続き）<br>「茅葺き作業」を体験してから調査の続きをします  |       |                   |
|              | 12:00      | 昼食   |       |                   |
|              | 13:00      | 植生調査（続き）<br>その他、「キノコ狩り」「紅葉狩り」「茅編み体験」   |       |                   |
|              | ~<br>14:00 |  |       |                   |
|              | 14:30      | 現地解散 キノコ+秋野菜(?)のお手土産つき!  |       |                   |

|      |   |
|------|---|
| 編集後記 | <p>池田さん、海老澤さん、斉藤さん、浅川さん、力作レポートありがとうございました。お陰で今号も読みごたえのある内容になりました。</p> <p>前回通信以降、新たに5名の会員を迎えて、計65名の所帯になりました。うち、原剛先生と井口真輝さんご一家が、10月例会に参加されます。</p> <p>10月例会の頃は、紅葉とキノコ狩りの最盛期。茅原の草紅葉が楽しみです。</p> <p>海老澤さん、浅川さん、「草原シンポジウム」参加レポート楽しみに待っています。(青)</p> |
|------|---|

